

セミナー：認知症と記憶障害の方への工学的支援 最新技術による ケアの可能性を探る

現在、認知症や記憶障害などの高次脳機能障害を有する方が急増しており、各分野からの支援が求められています。最近ではデザイン、情報技術などによる支援も試みられるようになりました。2008年6月京都工芸繊維大学は総合プロセス研究センターを設立し、その脳研究グループで認知症と記憶障害への工学的支援を研究することになりました。これを機会に情報機器、室内デザイン、画像認識、テレビ電話による遠隔支援などを試みている約10名の研究者に、最新の成果を報告してもらうべく当セミナーを企画しました。招待講演には東京都老人総合研究所の本間昭先生と慶応義塾大学病院の加藤元一郎先生をお招きします。今後、工学がどのような貢献をすべきか、そのより良い方向性に関して、関係各分野からのご教示を得たいと考えております。これだけ多くの工学的支援の研究発表がそろうのは初めてのことです。ICレコーダなどの簡便な道具による対処法の発表もありますので、工学的知識の有無にかかわらず、ぜひ皆様ご参加ください。

日 時：2009年3月15日(日) 9時半～16時半 終了後意見交換会(軽食付)

会 場：東京電機大学 神田キャンパス 7号館1階 丹羽ホール

主 催：京都工芸繊維大学 総合プロセス研究センター

共 催：ヒューマンインタフェース学会ノンバーバルインタフェース専門研究会

対 象：医療、福祉、介護、工学、当事者団体、一般市民など

会 費：無料 (意見交換会は参加費 1000円)

参加申込：京都工芸繊維大学 総合プロセス研究センター 事務局

(〒602-8585 京都工芸繊維大学大学院 先端ファイブロ科学部門 桑原教彰、

または e-mail: kit.media.lab@gmail.com、FAX: 075-724-7494)

交通案内

- ・ JR：
御茶ノ水駅／神田駅ともに徒歩
8分
- ・ 地下鉄：
淡路町駅B7出口 徒歩3分
新御茶ノ水駅B7出口 徒歩3分
小川町駅B7出口 徒歩3分



セミナープログラム

ご挨拶 9:30-9:40

森本一成 京都工芸繊維大学 総合プロセス研究センター長
ヒューマンインタフェース学会 ノンバーバルインタフェース専門研究会主査

招待講演 9:40-11:00

加藤元一郎 慶応義塾大学 記憶障害の病態とその治療：今後の支援法を考える
本間 昭 東京都老人総合研究所 認知症の理解：彼らを支えるために

総括報告 11:00-11:30

安部伸治 ATR知能ロボティクス研究所 情報セラピーインタフェースの研究開発

一般発表第一部 12:40-14:40

大武美保子 東京大学 画像提示による会話支援システムの開発と記憶課題による評価
山崎正人 東海大学 認知症ケアにおける「ヒトとモノとバをつなぐ」デザインの役割
安田 清 千葉労災病院/京都工芸繊維大学
簡単な道具や市販の機器による記憶障害・認知症の生活支援
田村俊世 千葉大学 要介護高齢者の介護負担軽減のための支援機器
石渡利奈 国立リハセンター研究所 スケジュール提示機器を用いた自立支援ケア
中山 剛 国立リハセンター研究所
携帯情報端末を活用した高次脳機能障害者の日常生活・就労の支援

一般発表第二部 14:50-16:30

久保泰男 (財)名古屋産業科学研究所 認知症高齢者への声かけ・見守りシステムの試作
藤波 努 北陸先端科学技術大学院大学
カメラを用いた認知症高齢者の介護：その実践と効果の分析
内海 章 ATR知能ロボティクス研究所 非接触センシングによるトイレ動作の支援
桑原和宏 立命館大学 認知症の方に向けた遠隔会話支援システムの提案
桑原教彰 京都工芸繊維大学大学院
在宅認知症患者の方への遠隔支援：TV電話とスケジュール管理

意見交換会 17:00-18:45

ハガキ、FAX（075-724-7494）、または電子メール kit.media.lab@gmail.com で
下記の内容をご連絡ください。

参加申し込み

| | |
|-----------------------------------|---|
| ご芳名 | |
| ご所属 | |
| ご連絡先 (FAXか電子メール) | |
| お立場 (丸で囲って下さい) | 当事者 / ご家族 / 支援者 / 医療関係者 / 工学関係者 / その他 () |
| 意見交換会 (参加費1000円) (丸で囲って下さい) | 参加する / 参加しない |